議案第74号

コミュニティ施設の統廃合に伴う関係条例の整備に関する条例を定めることについて

コミュニティ施設の統廃合に伴う関係条例の整備に関する条例を次のとおり定める。

コミュニティ施設の統廃合に伴う関係条例の整備に関する条例

(和光市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正)

第1条 和光市コミュニティセンター設置及び管理条例(昭和57年条例第8号)の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分(以下、改正前の欄にあつては「改正部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。)については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前																				
<p style="text-align: center;"><u>和光市コミュニティセンター設置及び管理条例</u> (設置)</p> <p>第1条 地域住民が相互に連帯感を醸成し、心豊かなコミュニティ形成を促進するため、<u>コミュニティセンター</u>(以下「センター」という。)を設置する。</p> <p style="text-align: center;">(名称及び位置)</p> <p>第2条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和光市新倉コミュニティセンター</td> <td>和光市新倉二丁目26番1号</td> </tr> <tr> <td>和光市牛房コミュニティセンター</td> <td>和光市白子二丁目28番13号</td> </tr> <tr> <td>和光市白子コミュニティセンター</td> <td>和光市白子二丁目15番51号</td> </tr> <tr> <td>和光市白子吹上コミュニティセンター</td> <td>和光市白子三丁目8番21号</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(休館日)</p> <p>第3条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、<u>センターの管理上特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。</u></p>	名称	位置	和光市新倉コミュニティセンター	和光市新倉二丁目26番1号	和光市牛房コミュニティセンター	和光市白子二丁目28番13号	和光市白子コミュニティセンター	和光市白子二丁目15番51号	和光市白子吹上コミュニティセンター	和光市白子三丁目8番21号	<p style="text-align: center;"><u>和光市コミュニティセンター設置及び管理条例</u> (設置)</p> <p>第1条 地域住民が相互に連帯感を醸成し、心豊かなコミュニティ形成を促進するため、<u>コミュニティセンター</u>(以下「センター」という。)を設置する。</p> <p style="text-align: center;">(名称及び位置)</p> <p>第2条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和光市吹上コミュニティセンター</td> <td>和光市白子3丁目14番10号</td> </tr> <tr> <td>和光市牛房コミュニティセンター</td> <td>和光市白子2丁目28番13号</td> </tr> <tr> <td>和光市新倉コミュニティセンター</td> <td>和光市新倉2丁目26番1号</td> </tr> <tr> <td>和光市白子コミュニティセンター</td> <td>和光市白子2丁目15番51号</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(業務)</p> <p>第3条 センターは、<u>施設の提供その他センターの設置目的達成に必要な業務を行う。</u></p> <p style="text-align: center;">(職員)</p> <p>第4条 センターに必要な職員を置くことができる。</p> <p style="text-align: center;">(休業日)</p> <p>第5条 センターの休業日は、次のとおりとする。ただし、市長が<u>認めたときは、この限りでない。</u></p>	名称	位置	和光市吹上コミュニティセンター	和光市白子3丁目14番10号	和光市牛房コミュニティセンター	和光市白子2丁目28番13号	和光市新倉コミュニティセンター	和光市新倉2丁目26番1号	和光市白子コミュニティセンター	和光市白子2丁目15番51号
名称	位置																				
和光市新倉コミュニティセンター	和光市新倉二丁目26番1号																				
和光市牛房コミュニティセンター	和光市白子二丁目28番13号																				
和光市白子コミュニティセンター	和光市白子二丁目15番51号																				
和光市白子吹上コミュニティセンター	和光市白子三丁目8番21号																				
名称	位置																				
和光市吹上コミュニティセンター	和光市白子3丁目14番10号																				
和光市牛房コミュニティセンター	和光市白子2丁目28番13号																				
和光市新倉コミュニティセンター	和光市新倉2丁目26番1号																				
和光市白子コミュニティセンター	和光市白子2丁目15番51号																				

(1) (略)

(2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

(利用時間)

第4条 センターの施設及びこれに附属する設備（以下「施設等」という。）の利用時間は、午前9時から午後9時30分までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 施設等の利用時間の区分は、午前9時から1時間を単位として設定する。ただし、午後9時から午後9時30分までの間は、30分を単位として設定する。

(利用者の範囲)

第5条 施設等を利用することができる者は、市内に居住し、又は勤務し、若しくは通学する者で構成され、規則に定めるところにより登録されたコミュニティ活動等を行う団体（以下「登録団体」という。）とする。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、センターの管理上支障がないと認めるときは、登録団体以外の者に施設等を利用させることができる。

(利用許可)

第6条 施設等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可（以下「利用許可」という。）に条件を付することができる。

3 市長は、センターの管理上支障があると認めるときは、利用許可をしないものとする。

(利用の制限)

第7条 市長は、施設等の利用について、次の各号のいずれかに該当するときは、その利用に条件を付し、又はその利用を拒むことができる。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。

(2) センターの管理上、支障が生じるおそれがあるとき。

(3) センターの設置の目的に反するとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用料)

第9条 利用者は、施設等を利用するときは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

(使用料の減免)

第10条 市長は、規則で定める場合その他特に必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の還付)

第11条 既納の使用料は、還付しない。ただし、

(1) (略)

(2) 1月1日から同月3日及び12月29日から同月31日まで

2 市長は、前項に定める休業日のほか、センターの管理上特に必要があると認めるときは、臨時に休業日を定めることができる。

(利用時間)

第6条 センターを利用することができる時間は、午前9時から午後9時30分までとする。

(利用の許可)

第7条 センターの施設を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

(利用の制限)

第8条 市長は、センターの施設の利用について、次の各号の一に該当するときは、その利用に条件を付し、又はその利用を拒むことができる。

(1) 公益を害するおそれがあるとき。

(2) 管理上、支障のおそれがあるとき。

(3) その他市長が必要と認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(利用許可の取消し等)

第12条 市長は、センターの管理上必要があると認めるとき、又は利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は利用許可を取り消すことができる。

(1) 第6条第2項の規定により付した条件に違反したとき。

(2) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。

(3) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(原状回復)

第13条 利用者は、施設等の利用を終了したときは、速やかにこれを原状に復さなければならない。前条の規定により、利用を停止され、又は利用許可を取り消されたときも、同様とする。

(損害賠償)

第14条 センターを利用した者が、自己の責めに帰すべき理由により、施設等をき損又は滅失したときは、市長の定める損害を賠償しなければならない。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(利用許可の取消等)

第10条 市長は、管理上必要があると認めるとき、又は利用者が次の各号の二に該当するときは、当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

(1) 利用の目的に違反したとき。

(2) 災害その他の事故により施設の利用ができなくなつたとき。

(3) この条例、又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(原状回復)

第11条 利用者は、その利用が終つたときは、速やかに当該施設を原状に復さなければならない。前条の規定により、利用を停止され、又は利用許可を取り消されたときも、同様とする。

(損害賠償)

第12条 利用者等が、自己の責めに帰すべき理由により、センターの施設等をき損又は滅失したときは、市長の定める損害を賠償しなければならない。

(使用料)

第13条 使用料を徴収する施設及びその使用料は、別表のとおりとする。

(使用料の減免)

第14条 市長は、公用または公益上特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第15条 既納の使用料は、還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合は、その全部又は一部を還付する。

(1) センターの管理上特に必要があるため、市長が利用の許可を取り消したとき。

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、施設を利用できないとき。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に規則で定める。

別表を次のように改める。

別表（第9条関係）

新倉コミュニティセンター使用料

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
和室	580	6,380

多目的ホール	930	10,230
--------	-----	--------

牛房コミュニティセンター使用料

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
ホール	940	10,340
広間	480	5,280
会議室	170	1,870
和室	160	1,760

白子コミュニティセンター使用料

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
展示室	490	5,390
和室 (A)	1,050	11,550
和室 (B)	290	3,190
会議室	160	1,760
視聴覚室 (A)	580	6,380
視聴覚室 (B)	290	3,190
調理室	190	2,090

白子吹上コミュニティセンター使用料

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
多目的室1	450	4,950
多目的室2	370	4,070
多目的室3	350	3,850
多目的室4	370	4,070

備考

- 1 全日とは1日の利用時間が11時間以上の利用をいう。
- 2 利用時間には、利用者側において利用後原状に復し、器具の整備、部屋の清掃等をする時間を含むものとする。
- 3 市民（市内に勤務し、又は通学する者を含む。以下同じ。）以外の者が利用し、又は市民以外の者を主たる対象として利用する場合の使用料の額は、施設等の区分ごとに定める使用料の額に100分の100を乗じて得た額を加算した額とする。
- 4 午後9時から午後9時30分までの間に利用する場合の使用料の額は、施設等の区分ごとに定める1時間当たりの使用料の額に100分の50を乗じて得た額を控

除した額とする。

5 使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てる。

(和光市地域センター条例の一部改正)

第2条 和光市地域センター条例(平成9年条例第7号)の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分(以下、改正前の欄にあっては「改正部分」と、改正後の欄にあっては「改正後部分」という。)については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前														
<p>和光市地域センター設置及び管理条例 (名称及び位置)</p> <p>第2条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>位置</th></tr></thead><tbody><tr><td>(略)</td><td></td></tr><tr><td>和光市向山地域センター</td><td>(略)</td></tr></tbody></table> <p>(休館日)</p> <p>第3条 センターの休館日は、1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日までとする。ただし、市長は、センターの管理上特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。</p> <p>(利用時間)</p> <p>第4条 センターの施設及びこれに附属する設備(以下「施設等」という。)の利用時間は、午前9時から午後10時までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。</p> <p>2 施設等の利用時間の区分は、午前9時から1時間を単位として設定する。</p> <p>(利用者の範囲)</p> <p>第5条 施設等を利用することができる者は、市内に居住し、又は勤務し、若しくは通学する者で構成され、規則に定めるところにより登録された自治活動等を行う団体(以下「登録団体」という。)とする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、市長は、センターの管理上支障がないと認めるときは、登録団体以外の者に施設等を利用させることができる。</p> <p>(利用許可)</p> <p>第6条 施設等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。</p> <p>2 市長は、前項の許可(以下「利用許可」という。)に条件を付することができる。</p> <p>3 市長は、センターの管理上支障があると認めるときは、利用許可をしないものとする。</p>	名称	位置	(略)		和光市向山地域センター	(略)	<p>和光市地域センター条例 (名称及び位置)</p> <p>第2条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>位置</th></tr></thead><tbody><tr><td>(略)</td><td></td></tr><tr><td>和光市向山地域センター</td><td>(略)</td></tr><tr><td>和光市城山地域センター</td><td>和光市白子三丁目4番5号</td></tr></tbody></table> <p>(利用者の範囲)</p> <p>第3条 センターを利用することができるものは、市に居住し、又は市内に勤務する者で構成され、規則に定めるところにより登録された自治活動等を行う団体(以下「登録団体」という。)とする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、市長は、センターの運営に支障がないときは、登録団体以外のものにセンターを利用させることができる。</p> <p>(利用の許可)</p> <p>第4条 センターを利用しようとするものは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。</p> <p>2 市長は、前項の許可に条件を付することができる。</p> <p>3 市長は、センターの管理上支障があると認めるときは、第1項の利用の許可をしないものとする。</p>	名称	位置	(略)		和光市向山地域センター	(略)	和光市城山地域センター	和光市白子三丁目4番5号
名称	位置														
(略)															
和光市向山地域センター	(略)														
名称	位置														
(略)															
和光市向山地域センター	(略)														
和光市城山地域センター	和光市白子三丁目4番5号														

(利用の制限)

第7条 市長は、施設等の利用について、次の各号のいずれかに該当するときは、その利用に条件を付し、又はその利用を拒むことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) センターの管理上、支障が生じるおそれがあるとき。
- (3) センターの設置の目的に反するとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用料)

第9条 利用者は、施設等を利用するときは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

(使用料の減免)

第10条 市長は、規則で定める場合その他特に必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の還付)

第11条 既納の使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(利用許可の取消し等)

第12条 市長は、センターの管理上必要があると認めるとき、又は利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は利用許可を取消すことができる。

- (1) 第6条第2項の規定により付した条件に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。
- (3) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(原状回復)

第13条 利用者は、施設等の利用を終了したときは、速やかにこれを原状に復さなければならない。前条の規定により、利用を停止され、又は利用許可を取り消されたときも、同様とする。

(損害賠償)

第14条 センターを利用した者が、自己の責めに帰すべき理由により、施設等をき損又は滅失したときは、市長の定める損害を賠償しなければならない。

(利用許可の取消し等)

第5条 市長は、センターの管理上支障があるとき又は利用の許可の申請に偽りがあったときは、利用を停止し、又は利用の許可を取り消すことができる。

(使用料)

第6条 登録団体が利用するときは、使用料は、無料とする。

2 登録団体以外のものが利用するときは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

3 市長は、規則で定める場合その他特に必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

<p>(委任) 第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、<u>規則</u>で定める。</p>	<p>4 既納の使用料は、返還しない。ただし、<u>規則で定める場合は、この限りでない。</u> (委任) 第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、<u>別に定める。</u></p>
--	--

別表を次のように改める。

別表（第9条関係）

白子宿地域センター

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
多目的室	280	3,080
広間	220	2,420
和室	100	1,100

新倉北地域センター

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
和室1	250	2,750
和室2	250	2,750
会議室	440	4,840
多目的室	430	4,730

本町地域センター

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
和室1	140	1,540
和室2	130	1,430
和室3	270	2,970
会議室1	140	1,540
会議室2	130	1,430
会議室3	270	2,970

南地域センター

(単位 円)

施設等	1時間当たりの使用料	全日の使用料
多目的室1	220	2,420
多目的室2	230	2,530
和室1	220	2,420

和室 2	2 4 0	2, 6 4 0
会議室	1 2 0	1, 3 2 0

向山地域センター

(単位 円)

施設等	1 時間当たりの使用料	全日の使用料
多目的室 1	2 3 0	2, 5 3 0
多目的室 2	2 1 0	2, 3 1 0
和室 1	2 6 0	2, 8 6 0
和室 2	2 6 0	2, 8 6 0
会議室	1 4 0	1, 5 4 0

備考

- 1 全日とは1日の利用時間が11時間以上の利用をいう。
- 2 利用時間には、利用者側において利用後原状に復し、器具の整備、部屋の清掃等をする時間を含むものとする。
- 3 市民（市内に勤務し、又は通学する者を含む。以下同じ。）以外の者が利用し、又は市民以外の者を主たる対象として利用する場合の使用料の額は、施設等の区分ごとに定める使用料の額に100分の100を乗じて得た額を加算した額とする。
- 4 使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てる。

(和光市役所出張所設置条例の一部改正)

第3条 和光市役所出張所設置条例（平成元年条例第2号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあっては「改正部分」と、改正後の欄にあっては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後			改正前		
(名称、位置及び所管区域)			(名称、位置及び所管区域)		
第2条 出張所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。			第2条 出張所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。		
出張所の名称	出張所の位置	所管区域	出張所の名称	出張所の位置	所管区域
和光市役所駅出張所	和光市本町3番3号	市内全域	和光市役所駅出張所	和光市本町3番3号	市内全域
和光市役所牛房出張所	和光市白子二丁目2番13号		和光市役所牛房出張所	和光市白子二丁目2番13号	
和光市役所坂下出張所	和光市新倉三丁目4番18号		和光市役所吹上出張所	和光市白子三丁目14番10号	

和光市役所白 子吹上出張所	和光市白子三丁目 8 番 2 1 号	
------------------	-----------------------	--

和光市役所坂 下出張所	和光市新倉三丁目 4 番 1 8 号	
----------------	-----------------------	--

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 項の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 第 1 条の規定による改正後の和光市コミュニティセンター設置及び管理条例別表の規定及び第 2 条の規定による改正後の和光市地域センター条例別表の規定は、施行日以後のコミュニティセンター及び地域センターの利用から適用し、同日前のコミュニティセンター及び地域センターの利用については、なお従前の例による。

(準備行為)

- 3 この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

令和 3 年 1 2 月 2 日提出

和光市長 柴崎 光子

提 案 理 由

コミュニティ施設の統廃合に伴い、地方自治法第 2 2 8 条第 1 項及び第 2 4 4 条の 2 第 1 項の規定により関係条例を改正したいので、同法第 9 6 条第 1 項第 1 号の規定によりこの案を提出するものである。